

遠野

市議会だより
2009.3.31

NO. 15



まこやが・さんぽ

上郷保育園

寒さが少しずつ和らぐ今日この頃、子供たちは元気に戸外遊びを楽しんでいます。雪解けの園庭でサッカーや縄跳びを楽しんだ後のさわやかな笑顔いっぱいの年長組です。春からの小学校1年生への希望で胸がいっぱいです。

(安部 千歳園長)

主な内容

2月臨時会
3月定例会

- 新年度予算決まる
- 中学校再編成調査特別委員会
中間報告
- 遠野物語発刊百周年事業動きだす

発行：遠野市議会

平成21年度予算166億6,500万円可決



▲定例会では市長の施政方針演説が行われた

2月臨時会

平成21年2月臨時会が2月13日に開催され、下記議案を原案のとおり可決しました。

平成20年度遠野市一般会計補正予算（第8号）は、国の第2次補正予算に伴う「定額給付金」給付事業のほか、定額給付金プレミアム商品券事業について活発な質疑が交わされました。

議 案

- 平成20年度遠野市一般会計補正予算（第8号）

討 論

〔反対〕

平成20年度遠野市一般会計補正予算（第8号）

織笠孝之議員

議会で審議をする前に新聞発表する事は、議会軽視と言われてもやむを得ない。現在の市内の状況を見ても、雇用対策・生活弱者への社会保障対策を盛り込むべきである。国の二次補正関連法案も決定していない事から、現段階での定額給付金の支給に反対する。

〔賛成〕

菊池民彌議員

国の平成20年度第2次補正予算を受けて、本市の地域経済の活性化のために、「定額給付金」給付事業、「地域活性化・生活対策交付金」事業及び「子育て応援特別手当」給付事業に取り組むための補正予算であり、本市の地域活性化を担う予算であると判断し、賛成するものである。

3月定例会

- 遠野市介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金条例を廃止する条例の制定について
- 遠野市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について
- 遠野市市有林造成基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 平成20年度遠野市一般会計補正予算（第9号）
- 平成20年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 平成20年度遠野市老人保健特別会計補正予算（第3号）
- 平成20年度遠野市後期高齢医療者特別会計補正予算（第1号）
- 平成20年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 平成20年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成20年度遠野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成20年度遠野市下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成20年度遠野市水道事業会計補正予算（第2号）
- 平成20年度遠野市一般会計補正予算（第10号）
- 遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市統計調査条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市福祉医療資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市わらすっこ条例の制定について
- 遠野市わらすっこ基金条例の制定について
- 遠野市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市母子家庭医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

- 遠野市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- 辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について
- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の認定について
- 市道路線の変更について
- 字の区域の変更について
- 平成 21 年度遠野市一般会計予算
- 平成 21 年度遠野市国民健康保険特別会計予算
- 平成 21 年度遠野市老人保健特別会計予算
- 平成 21 年度遠野市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成 21 年度遠野市介護保険特別会計予算
- 平成 21 年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計予算
- 平成 21 年度遠野市農業集落排水事業特別会計予算
- 平成 21 年度遠野市下水道事業特別会計予算
- 平成 21 年度遠野市水道事業会計予算
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

河野 美智子氏（宮守町）

常任委員会等の活動

- 総務常任委員会（2月18日開催）
 - ・平成 21 年度総務常任委員会が所管する予算概要について
- 教育民生常任委員会（2月20日開催）
 - ・平成 21 年度生活環境部所管主要事業について
 - ・平成 21 年度健康福祉部所管主要事業について

（3月3日開催）

 - ・閉会中の継続調査について
- 産業建設常任委員会（2月27日開催）
 - ・閉会中の継続調査について
- 遠野市政調査会（2月5日開催）
 - ・岩手中部広域行政組合一般廃棄物処理施設の進捗状況について

遠野市立中学校再編成調査特別委員会活動経過

- 第 1 回遠野市立中学校再編成調査特別委員会（1月9日開催）
- 第 1 回遠野市立中学校再編成調査特別委員会幹事会（1月9日開催）
- 第 2 回遠野市立中学校再編成調査特別委員会（1月15日開催）
- 第 2 回遠野市立中学校再編成調査特別委員会幹事会（1月15日開催）

- 中学校再編成に係る「住民から意見を聞く会」
開催場所：附馬牛地区センター・土淵地区センター・青笹地区センター（1月26日開催）
- 中学校再編成に係る「住民から意見を聞く会」
開催場所：綾織地区センター・小友地区センター・東禅寺地区コミュニティ消防センター（1月27日開催）
- 中学校再編成に係る「住民から意見を聞く会」
開催場所：上郷地区センター・あえりあ遠野中ホール・総合福祉センター（1月28日開催）
- 中学校再編成に係る「住民から意見を聞く会」
開催場所：みやもりホール（1月29日開催）
- 中学校再編成に係る「住民から意見を聞く会」班長会議（2月5日開催）
- 第 3 回遠野市立中学校再編成調査特別委員会幹事会（2月10日開催）
- 第 3 回遠野市立中学校再編成調査特別委員会（2月13日開催）
- 第 4 回遠野市立中学校再編成調査特別委員会「教育委員から意見を聞く会」（2月27日開催）

遠野市立中学校再編成調査特別委員会中間報告

住民から意見を聞く会を開催するにあたり、委員を三班に編成し、1月26日から29日までの4日間で9地区10会場に、住民234人の出席を頂き、意見を伺った。

4項目の主な意見は、①計画案について、賛成だが枠組みをもっと時間をかけて検討すべきだ。再編成の理念が見えてこない。2校案や1校案も考えてみては。地域の視点や子供の立場に立った再編ではない。現計画案で、問題を解決する方向で実を結んでほしい。統合の必要性を感じない、など20項目。②中学校のあり方について、30人以下の学校を考えると統合すべき。新学区、新設で人数割り振りが平等になる統合ならいい、など9項目。③生徒の教育環境について、通学時間にロスがでる、家族も大変。免許外教員は今に始まったことではなく、今になって出すのはおかしい。統合前に子供たちの交流や制服を揃えた方がよい。クラブ活動できない環境にあるので統合は必要だ、など11項目。④地域のあり方について、学校は地域文化の象徴である。郷土芸能の伝承に不安がある。過疎対策をどうすべきか考えるべきだ。カントリーパーク構想から言ってもこの計画は無理がある。中学校がなくなると廃れるというのが宮守は廃れていない、など11項目。以上4つの視点から意見が出され、中学校がなくなる地域とそうでない地域での温度差を、委員多数が痛感した。（抜粋）

地域医療の確保対策は



菊池 邦夫 議員

【質問】総合食育センターの施設整備は急がなければならない課題だが状況はどうなっているか。食材調達の目的に農家等によって構成される事業組合の立ち上げは。

【市長】整備手法、施設の設計及び管理運営方法について、財政的、法的検討を重ねている。構想の方向性は変わらないが、1年先送りし、平成

23年度運営開始を目指して検討している。

【質問】市民協働による地域医療確保が必要である。医療関係者の努力だけでは成り立たない時代である。受診する側と医療関係者との相互理解と信頼関係が必要と考えるが市長はどう思うか。遠野病院の現状は。

【市長】この4月から内科医と整形外科医が1人ずつ着任の予定である。医師不足が叫ばれる中、地域医療を守るためには、県だ市だと言っていない。遠野病院と連携した積極的取組の成果である。今後も市民との協働で、より良い地域医療環境づくりに努めたい。

【質問】少子化対策・子育て支援総合プランでの遠野市わらすっこ条例制定元年にあわせ、思い切って第2子以降の保育料無料化を検討し、子どもを産み育てる推進の柱にしたいと思うのだが。

【市長】遠野に住む子どもたちが、健康で元気に、そして幸せに暮らせる「まち」を目指し、子育てするなら遠野市と、感じてもらえるための市の約束事である。親子、家族の絆の再認識と地域の連帯感の醸成によるまちづくりにつながると考えている。第2子以降の保育料無料化は、条例施行元年に向け、力強く後押しするための提言と受けとめ、国策としての課題であり、機会あるごとに国、県に対して提言、要望していく。



▲明日の遠野を担う子供達

遠野農業に欠かせぬ農業委員の活用



菊池 民彌 議員

【質問】農業生産100億円アクションプランの検証結果と今後の取り組みは。

【市長】ASTの成果、手ごたえを感じている。本気に取組もうとする農家の手ごたえを得た。ASTは地道ではあるが、チャレンジし、取組活動を続けていく。

【質問】遠野農業の振興と農業委員の係わりについては。

【市長】農業委員との連携について、積極的に進める。

【質問】耕作放棄地調査状況と今までの方策については。

【市長】昨年8月～9月に農業委員会と共同で調査した。その結果、耕作放棄地と見込まれた土地は、19.4haであった。うち耕作可能地と判断された土地は11.2haで、残りの8.2haは復元不可能に区分された。遠野市農林水産振興協議会に「耕作放棄地部会」を設置し、部会中心に、耕作放棄地解消計画を策定し、対策を講じていくこととしている。

【質問】平成21年度予算編成の特徴的なものは、経常収支比率が例年80%台となり慢性化傾向にあるのでは。また国の地方財政対策の係わりは。そして後年度の財政見通しについては。

【市長】遠野スタイル創造ステップアップ予算として編成し、健全財政5ヶ年計画の堅持、少子化対策・子育て総合支援の推進等6点を上げることができる。第三セクターの見直しをするなど、経常経費の抑制に取り組んでいく。地方財政対策では、地方交付税の特別枠として、地域雇用創出推進費が盛り込まれ、県試算では当市に1億5千万円ほど見込まれる。平成21年度には、後期基本計画の策定に着手し、併せて健全財政5ヶ年計画も新たに策定する。

【質問】来る10月は市長選挙がある。出馬の意思は。

【市長】しかるべき時に判断する。



▲今後の活躍が期待される新農業委員

堆肥センターの有効活用について



浅沼 幸雄 議員

【質問】農作物を育てる要素の1つに栄養分があり、一般的には肥料がその役目を担っている。肥料には大きく分けて有機質肥料(堆肥)と無機質肥料(化学肥料)があるが、昨今の化学肥料価格の高騰により農業経営を圧迫している。その対策の一環として堆肥センターの堆肥を最大限に活用し、加えて

土壤診断を実施し、安価で効果的な施肥方法の検討及び実施に取り組む必要があると考えるがどうか。

【市長】水田の土壤診断については、JA花巻が主体となりアストも支援しながら現在で約700件ほどの土を各農家から提供して頂いており、その検査結果に基づいた適正な施肥設計を行い指導していく予定である。また、園芸作物についても普及サブセンターと連携しながら土壤診断、施肥設計をおこない堆肥活用の推進と経費の削減に努めていく。これまでの農業は、化学肥料に依存してきた経緯があり堆肥の効果、活用について周知されていないところもあることから、集落営農組織等と連携のうえ、品目ごとの試験ほ場を設定しながら、堆肥と化学肥料との適切な組み合わせモデルを検討し、その結果を農家にPRしながら、地域資源を活用した循環型農業の推進、土づくりの強化等、遠野型農業の推進について、農家との共通認識を図りながら、消費者に訴える農産物の生産を進めていきたい。

【その他の質問】

○遠野市わらすっこ条例の概要と意義について。

この条例によって子供主体のまちづくりがどのように進められていくのか。市としては具体的に何を行っていくのかについて。

○第四次高齢者福祉計画について。

広域観光振興策を示せ



石橋 達八 議員

【質問】この度、近代産業遺産として宮守町の「めがね橋」「トンネル」計4件が経済産業省から認定されたが、以前には国の重要文化的景観として荒川高原牧場、伝統的建造物として国重要文化財の南部曲り家千葉家、商家仙臺家などが認定されている。遠野の先人が築いてきた生活・文化が時を経て輝き始めた。歴史的

景観や風致を活用した近隣市町村との連携による新たな広域観光振興策を示せ。

【市長】観光協会等、各関係団体と連携し、遠野の魅力発信に取組、観光振興と交流人口の拡大を図っていく。具体的には遠野の「どぶろく」は構造改革第1号、花巻の「早池峰神楽」は国の無形文化財第1号、そして平泉の「金色堂」は国宝第1号となっていることから「日本のナンバーワンな旅物語」を21年度から商品化していく。

【質問】高齢者や障害をもたれる方の災害時における援護体制、避難支援策を急ぐべきだ。

【市長】自主防災組織の結成を加速させ、地域の特性を生かし地域の見守り体制を全ての地区に波及させたい。「避難支援プラン全体計画」は消防本部、健康福祉部等の関係部局の連携のもと、平成21年度をめどに策定に取り組む。

【質問】23年7月にアナログ放送が終了する。地上デジタル放送の円滑な移行と課題にどう取組むか。

【市長】①難視聴地域の対策は、遠野テレビへの加入促進を進めたい。②高齢者、障害者への説明と周知については「とびあ」での地デジ体験コーナー、とおの広報での特集等で。③公共施設の受信障害物には、市が責任をもって対応する。④振込め事件やアナログテレビの廃棄については被害防止策や不法投棄防止の監視パトロールを行う。



▲堆肥のさらなる有効活用を



▲新たな観光振興策を
(新たな観光のスポットとして注目を集めるめがね橋)

中 学校再編成計画案への説明責任について



瀧澤 征幸 議員

【質問】 上郷町羽場地区は未舗装が90%であり、市道路線の認定に伴い、優先して舗装改良する必要があるのではないか。

【市長】 同地区の道路は、ほとんどが集落に密着・関連した路線であり、現在進めている「生活に身近な道づくり」計画の見直し等により整備していく予定である。

【質問】 中学校再編成の進め方について、教育委員会と住民とではかなりの温度差を感じるが、市民の不安を解消し、計画を進めるため、説明責任を果たすべきと思うが。

【教育長】 中学校再編成計画は現在の多くの中学校が抱えている免許外指導教科の恒常的な発生、少人数によるクラス替えのない9年間などの生徒指導上及び学校経営上重大な課題を改善し、より良い教育環境の確保を目指したものである。特に、免許外指導教科について、免許を所有する教員の確保が難しい場合も考えられるが、県教委に対して免許を所有する講師配置を求め、それでも配置されないときは、市独自で講師等を雇用して対応する考えを明確に計画案で示している。また、スクールバスの通学時間について、実は1時間以上かかったという検証結果の話もされたが、スクールバスの運行経路を示すにあたっては、計画案上で再編成時期としている平成23年度時の生徒、つまり現在の小学校4年生から6年生の住所状況に基づいて、乗車人数、運行距離や時間を、実地調査により作成したものである。運行時間は、停留所ごとに、乗車人数に応じた所要時間を追加し、冬期間の道路状況を加味しながら、時速30km台の無理のない速度で測定したもので、1時間以上かかるような地域は発生していない。

今後は、対話を基本に、市民の合意形成に取り組む。



▲説明責任を果たし、市民との合意形成を

農 業振興について



伊藤 庄吉 議員

【質問】 農協の加工施設の廃止に伴い生産農家は迷っている。

【市長】 昨年11月に発生した殺菌不足による飲料の自主回収により、農協の加工所は停止になっているが、再開には大規模改修と多額の費用と一定期間を要する。21年度中に利用農家の意向を踏まえ、JA・市・生産者の三者

で検討し、22年までには再開する。

【質問】 健康食材として雑穀の需要が高まっているが、栄養の面からも良い傾向だと思っている。地元の一部の人々でモチ稗を栽培したが加工施設がなく、生産者が途方に暮れている。市が所有している水車が利用できないか。

【市長】 近年国内において健康食材として雑穀の需要が高まっている。当市での雑穀の取り組みは個人が主で規模は小さい。産直等での販売が中心である。機械化が確立されていないので、作業体系の確立と検証が必要である。又、水光園などにある水車等を利用すれば観光振興にもなる。

【質問】 木工団地は遠野産材の販路に期待をこめてできた施設である。この団地もオープンして早15年になるが課題が山積している。自由主義のもと、市場原理のもとに価格の下落を起こし、厳しい経営を強いられている。地元産である木材産業をより発展されなければならない。今年住宅販売が100万戸から70万戸に下がるといわれている。また、機械の更新が近づいている。隣町では7億強もの支援をし、取組んでいる。当市としても支援を検討してみてはどうか。

【市長】 市としては職員を配置して市の林業振興及び木工団地内事業体の活動支援をさらに強化していく。機械の更新については原則として補助事業の導入は難しい。各事業体の自助努力で行うことになる。



▲遠野産材のより一層の販路拡大を

予算と健全財政五カ年計画との整合性は



荒川 栄悦 議員

〔質問〕新組織、環境整備部と環境基本条例、環境基本計画との係わりは。

〔市長〕遠野市総合計画前期基本計画の大綱1にある「自然を愛し共生するまちづくり」と「ふるさと遠野の環境を守り育てる基本条例」の「環境基本計画」との整合性を図り、条例の12条にあげられている「あらゆる政策に環境

の保全及び創造について配慮する。」とある基本方針を踏まえたものである。このことにより、幅広い環境分野のニーズに対して、今まで以上に環境に配慮、対応していく事とし、環境整備をハード・ソフト面で一体的に推進するとともに、より市民に身近な組織へと移行するものである。最終的に、環境重視のまちづくり・市民協働を一層推進することを主眼としたものである。

〔質問〕平成21年度当初予算及び平成20年度最終予算が前年度に比較して増額となっているが、健全財政五カ年計画との整合性は。

〔市長〕20年度最終予算は当初予算に比較すると13.8%増の約185億円となり、また新年度一般会計予算は166億6500万円で対前年度当初比2.4%増である。主な原因は、国の経済対策に対応した後年度に予定されている事業の前倒しである。22年度末の市債残高は、健全財政五カ年計画では約181億円としているが、その額を上回る予定である。ただ、21年度末の主要3基金の残高は約18億円が見込まれ、計画の目標額約3億円を上回る予定である。人口減少状態をみれば、今後も市税収入の増加は見込めない。歳出の抑制策として、定員管理計画による人件費の圧縮、経常経費の一律削減、市債の繰上げ償還による後年度公債費の軽減等、多岐にわたって財政の健全化に向けた取組が必要と認識している。



▲環境教育の一貫として行われたごみ川柳大会

市内企業の雇用環境は



小松 大成 議員

〔質問〕派遣切りとよばれる不安定雇用労働者の解雇が、社会問題化してきている。当市も市地域連携雇用創出推進本部を立ち上げ取り組んでいるが現状はどのようなものか。

〔市長〕今回の世界同時不況は百年に一度といわれ、非正規労働者のみならず正社員の削減を行っている事業所もあり危機的状況が続いており予

断を許せない状況だ。雇用の確保といった観念と共に、労働者のセーフティネット等の対策に取り組む必要があることから、今後の国の動向を見極め対応を検討する。

〔質問〕昨今の農業情勢の中で、後継者のいない農家や農村の荒廃は目を覆うばかりだ。広大な面積を擁する当市において市内均衡ある振興を図るため農業の振興は欠かせない。その実践者となるべき農業経営者確保育成は緊急の課題だ。

〔市長〕農業生産額の回復と元気な農業を目指して、農業活性化本部を立ち上げ担い手の問題を含め様々な取組をしてきた。新規就農者に対する支援策としては、岩手県農業公社の「就農支援資金」がある。担い手の問題は当市としても大きな課題であると認識している。

〔質問〕介護保険第四期事業が始まる。当市においては市村合併による課題であった保険料の統一が図られる。それによって、旧遠野市民の保険料負担は大幅に引き上げられる。合併時の理念であった「サービスは高い方に、負担は低い方に」からすれば疑問に思わざるをえないが。

〔市長〕これまで宮守町3,912円、旧遠野市3,222円と不均一の保険料であったものを合併協定項目に基づき統一するものである。地域住民への説明会などを通じ、新しい介護保険料等についても市民理解をいただくよう努める。



▲さらなる雇用創出を

予算等審査特別委員会 3月4日~3月11日

予算等審査特別委員会（議長を除く 21 人の議員で構成、委員長萩野茂男議員、副委員長多田誠一議員）は、条例 16 件、予算 19 件、その他 7 件の 42 議案について付託を受け、6 日間の審査を行いました。今定例会では 20 年度補正予算等と 21 年度一般会計予算等が示され、緊急雇用対策事業関連や畜産総合センター整備事業等について活発な質疑が交わされました。その結果、全 42 議案が原案のとおり可決されました。



遠野市わらすっこ条例制定される

雇用創出について

【質問】 最近の市内での離職者の状況はどうなっているか。

【答弁】 本年 3 月末で約 300 名になると把握している。

【質問】 離職者への対応の一環として約 7 千 3 百万円の予算を計上しているがその内容は。

【答弁】 緊急雇用創出ということで、市役所の通常の臨時職員以外の臨時職員採用（39 名予定）に約 3,240 万円。1～3 年間の農林業関係の長期雇用（7 名予定）に約 2,350 万円。パソコンや介護の研修に約 850 万円。企業向けのトライアル雇用や雇用調整助成金、いわゆる試験雇用や、企業に在籍しながらの一時休業者等への助成に約 820 万円を計上している。以上のように雇用対策に県内でいち早く取組んできたが、今後の動向を見極めながら雇用創出に努めていきたい。

耕作放棄地の現状について

【質問】 農地の流動化は現在どのような状況となっているか。

【答弁】 農地の流動化、貸借の状況は、これまで順調に進んできていたが、昨年度はそれに歯止めがかかったような状況である。その理由としては、集落営農の中で、作業受委託が進んでいるためである。

【質問】 担い手への流動化と理解してよろしいか。

【答弁】 認定農業者や担い手への農地の流動化・貸し借りは、全体の 75% を占めている。

【質問】 耕作放棄地の面積は現在どのくらいか。

【答弁】 昨年 8～9 月の 2 カ月間、市長部局職員と農業委員、同事務局で調査した。その面積は 19.4 ヘクタールとなっている。センサスでは 200 ヘクタールとなっているが、この中には自己保全管理水田などの面積も加わった数字である。

中山間直接支払いについて

【質問】 中山間直接支払いの経過と現状は。

【答弁】 平成 17 年から行われている耕作放棄地などを無くすために急傾斜地、緩傾斜地に補助している。現在 55 集落が協定をしている。予算は国が 2 分の 1、県が 4 分の 1、市が 4 分の 1 負担している。とてもいい制度である。

【質問】 55 集落が協定しているようだが市内にはもっと対象となる地区があると思うが。

【答弁】 1 ヘクタールという面積要件もある。又、協定内容もある。

【質問】 この事業は今後も続くようだが、条件のよくない田畑を環境の面からも維持していくために必要である。公平性をもって進めるべき。

【答弁】 畦畔けいはんの維持だけではなく機械や施設の共同利用も行われている。

遠野市わらすっこ条例について

【質問】 遠野市わらすっこ条例では 4 種の権利は保障されているが、「安全に安心して生きる権利、豊かに育つ権利、自分が守られる権利、参加する権利」これらの権利が侵害された時、救済する体制はあるか。

【答弁】 条例の第 4 条に侵害や危険から守られることが保障されている。また第 15 条では、市の責務として、市は保護者、地域住民等、学校等関係者及び関係機関と連携し、及び協働し、虐待、体罰、いじめなどの防止、相談及び救済のための必要な措置を講じる、とある。市民からの問い合わせに対して、子供達の成長過程で切れ目のない継続的で一元的な相談の窓口を子育て総合支援室に設置する考えだ。就学期における権利救済に対してもトータルの取組むつもりだ。

滞納整理機構とは

【質問】滞納整理機構との連携強化を図るということは、収納率を上げる効果があるのか。

〔答弁〕効果としては、市の職員が県の滞納機構の専門的な知識、手法を取得することにある。又、県と市がタイアップすることで収納事務の効率化がすすむ。

【質問】徴収担当長及び県の滞納機構の職員構成は。

〔答弁〕機構の職員は県総務部税務課内から担当課長1名、税務本職3名、市町村から派遣職員8名の構成で総勢で12名である。

【質問】収納体制を強化する事は、強制収納を招く不安がある。又、機構への負担金は。

〔答弁〕滞納処理が出来なかった事案もある。機構と連携する事で収納事務が一体的に進む。滞納者に対して十分留意して対応していく。滞納整理機構への負担金は年額5万円である。

民生委員の人員減への対応について

【質問】民生委員が次期改選では6名減となるようであるが、少子高齢化の中であって、他の区にまで民生委員が赴いて一般家庭にお邪魔するには大変な抵抗感があると聞く。プライベートに関わることもあって、当然のことと考える。そこで、国が認めなくても自治体で独自で認める民生委員制度のようなもの考えることはできないか。

〔答弁〕厚生労働大臣、岩手県知事そして遠野市長の3つの看板を背負っている民生委員と、そうではない自治体独自の民生委員が同時に存在することとなり、90年以上の歴史を経ている民生委員制度において、その相違点が生まれること、或いは現状において誇りをもって活動している方も大勢おり、手法とすれば独自の民生委員ということも十分あり得ることだが、このことが大きな課題となっている。



▲待望の医師着任風景

生活保護の今後の増加傾向について

【質問】この経済情勢の中、離職者が3、4百人となり、生活保護に頼らざるを得ない傾向にあると思うが。

〔答弁〕12月から相談件数は増えている。20年度は上半期実績で8件あり、今後も増加傾向にある。

【質問】生活保護費の資金の出どころは、国庫予算と市の一般会計からも8千万を予算計上しているが、資格審査はどのような配慮がなされているか。

〔答弁〕預貯金・生命保険等と扶養義務調査の2点。

【質問】この時期だからこそ、丁寧な説明が大切になってくるが。

〔答弁〕漏えい防止、濫給防止の考え方、相談に来られた方の立場を考慮し、相談に応じていきたい。

【質問】保護を受けている世帯・人数は。

〔答弁〕3月1日現在で169世帯・212名で、昨年より5世帯・5名が増えている。

医療環境の充実について

【質問】4月から遠野病院に2人の医師が着任し、充足率も100%を超える予定であり喜ばしいことである。

この良好な状態を継続させる為に、現在まで取組んできた受診者の受診態度等の啓発活動を、更に強める必要があると思うが。

〔答弁〕21年度の最重点課題を市民啓発と考えている。

平成19、20年度の啓発活動で市民の理解と協力が進み、夜間に集中していた救急患者が減少しており、確実に効果が表れてきている。

21年度は、小児科の受診方法や整形外科の受診者数の制限等の啓発活動を進めていき、医師の負担軽減や効率的な受診ができる環境を充実させたいと考えている。



▲訪問介護員講習を終えた研修生



▲遠野の主幹産業のひとつ「畜産」

馬パラチフスの被害について

【質問】馬パラチフスの被害額と被害頭数は。

【答弁】馬の評価額によって違いがあるが、総額で2,800万円、44頭である。

【質問】馬産振興を奨めている市にとっては大きな影響があると思うが、今後の馬産振興はどの様に進めていくのか。風評被害もあると思われるし復活までに時間がかかると思うが。

【答弁】法定伝染病であるので蔓延させないようにする。他から入ってくる馬もいるので血液検査をして浄化してこれから行われる種付け業務など支障のないように清浄化していく。

【質問】44頭がいなくなるが、その補充の考えは。

【答弁】日本馬事協会、地方競馬協会など馬の関係機関からの情報も寄せられていて、その中で乗用馬については馬の配分もあり、それらを参考にして増やしたい。

畜産総合センター事業の整備について

【質問】畜産総合センター事業の整備について問う。

【答弁】仮称だが、畜産総合センターを立ち上げることになっている。昨年の9月から6回ほど関係団体で協議してきた。12月には4者の首長で協議し、旧種牛センターの場所に畜産農家の利便性を図りながら畜産振興を推進していくことになる。

【質問】これによって診療業務や種付け業務の一元化が図られるのか。

【答弁】畜産には防疫の問題や災害などがあり、全てのものに対応強化を図り進めていこうとするものである。

【質問】期待される施設と思うが4者のうち誰が運営するのか。

【答弁】今、協議中である。恐らく市の畜産担当がすることになると思うが決定したならば、お示しする。

地区センターの設置について

【質問】市村合併後、当時の地域の状況とはかなり違ってきている。旧遠野市では交通安全協会や防犯協会、地域教育協議会などが地区センターの指導のもとうまく機能している。3年も経過しているが、達首部、鱒沢への地区センター配置はどうなっているか。

【答弁】地区センターのあり方について、合併当時は宮守地区には1つということを進めてきたが、市民協働による管理運営等のあり方、市民センター運営協議会等の中で総合的な検討を行っている段階である。しかし、北上市などは、地区センターを全部廃止し、民間の指定管理者に管理させる動きなどもあり、様々検討を要すると考えている。総合支所の中に地区センターを設置し、専門の地区担当職員を配置しながら、今後のあり方を検討していく。

プロイハウスのビール醸造設備機器について

【質問】どのような経過で売払いになったのか。

【答弁】指定管理者と相談し内部検討を行い、ビール醸造釜については、今後使用する見込みがないという事から一般競争入札で売却うことになった。

【質問】施設のシンボルであったが何も無くなった。今後そのスペースの使用計画は。

【答弁】レプリカでビールの代替釜を設置し、雰囲気醸し出しながら誘客すると聞いている。

【質問】ビールを造らなければ、新たな内容で施設を整備して誘客を図るのが望ましいのではないか。

【答弁】ワサビエールについては、施設での醸造予定はないが、昨年業者から製造委託し販売はしている。宮守地区で東北一の生産を誇るワサビと地ビールは今後とも維持発展させていきたい。



▲遠野麦酒苑グランドオープンの様子

各種委員会等報告

- 議員全員協議会(2月5日開催)
 - ・遠野市農業委員会委員の推薦について
- 議員全員協議会(2月13日開催)
 - ・国の第2次補正予算に対応した市の取組について
- 議員全員協議会(2月17日開催)
 - ・平成21年度主要事業について
 - ・遠野市わらすっこ条例等の制定について
 - ・遠野市特別職の給与に関する条例等の一部改正について
 - ・遠野市ハートフルプラン2009 第四次高齢者福祉計画・第4期介護保険事業計画について
 - ・遠野市斎場整備事業について
 - ・遠野市総合防災センター基本計画の概要について
- 議員全員協議会(3月12日開催)
 - ・人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議会推薦による遠野市農業委員会委員
 及川 傳弘氏(綾織町) 佐々木 義弘氏(小友町)
 小森 清市氏(上郷町) 菊池 信子氏(宮守町)

議員発議案

今定例会には、4件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。可決した条例・規則・意見書は以下のとおり。

- 遠野市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 遠野市議会会議規則の一部を改正する規則
- 障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書
- 「嫡出推定」に関する民法改正と救済対象の拡大を求める意見書

意見書の送付

今定例会で可決した意見書2件は、平成21年3月12日付け、遠野市議会議長名で衆議院議長、参議院議長・内閣総理大臣・総務・法務・厚生労働の各大臣あてに送付しました。



わたしのひとこと

私と遠野との出会い

樋口 真衣さん(宮守町)

小学生の頃に見た写真。それが私と遠野との出会いでした。青い空、白い雲の下に青々とした田んぼ、その中に点在する家、そして濃い緑の山々…遠野盆地を高台から写したもので「こんなところが故郷だったら素敵だなあ」と憧れた覚えがあります。そして本当に遠野に住むことになった訳ですが、「こんな風景がまだ日本に残っていたのか!」と驚くことが沢山ありました。セメントに固められていない川、あちこちに残る石碑・お杜。これからも残してほしい景色ばかりです。そんな風景も大好きなのですが、遠野での一番の収穫は人との出会いでした。私は生きる知恵袋のような‘素敵なおばあちゃん’を目指しているのですが、遠野には目標となる方々が沢山いらっしゃいます。これからも遠野の方々に色々知恵や技を教えてもらって、夢に一步でも近づきたいと思っています。

6月定例会の予定

- ◆定例会は6月5日(金)開会の予定です。
詳しくは議会事務局まで。
- 議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。
議会事務局 62-2111(内線271)
gikai@city.tono.iwate.jp

編集後記

日ごとに春の便りが各地から聞こえてくる今日この頃です。今定例会の議論は外の寒さに比べるととても熱いものでした。と言うのも、補正に係わる予算等の審査を1日にし、21年度に係わる予算等の審査を5日にしたからです。そのうち条例としては、市民センター条例の改正で地区センターのありようについて、わらすっこ条例の制定で子供の権利を守ること、子育てに関する支援、取決め、環境等について時間をかけ審査されました。また、予算においても農林・畜産振興、商工振興等経済活性化についても深く議論されました。議論が深まれば深まるほど新たな課題が浮き彫りになってくるし、議員の立場から市政課題の解決を目指していかなければならないと強く思いました。それにつけても、いただいた定額給付金をどう使おうかな…もちろん生活費としていただきます(女房)。

(荒川栄悦議員)